



経済更生運動と民俗

—— 1930年代の官製運動における介在と変容



和田健 [千葉大学国際教養学部教授／民俗学] = 著

定価：本体4500円 [税別] / A5判上製 / 224頁

目 次

- 序 一九三〇年代の官・民合わせて創られた民俗慣行
- 1 農山漁村経済更生運動と更生計画書
- 2 日常生活・人生儀礼に関わる生活改善指導
- 3 数量化、組織化、明文化で生活改善指導を実行する方法
- 4 同時代に交差した経済更生運動と生活改善運動
- 5 「因習」「弊風」「陋習」とみなす評価、「美風」「美俗」とする評価
- 6 まとめと今後の課題——官製運動において介在される民俗慣行

戦争へいたる「空気」は、誰がどのように作ったのか？

満州事変の翌年に始まった「農山漁村経済更生運動」は、「生活改善指導」の名の下、緩やかに人びとの生活に介入し、それまで行われていた民俗慣行は変化していく。

むらの相互扶助システムは、いつのまにか相互監視の役割を果たすようになり、「守らなければならない」という雰囲気が人びとを包み込む。

日中戦争開戦へと至る「空気」はどのようにつくられたのか？

茨城県がとりまとめた『経済更生計画書』を読み込み、官製運動が「民」を動かすメカニズムに迫る。

● 版元より、書店の皆様へ

官は強制するわけではない、民もそこまで真面目に取り合わない、けれども、その狭間で作り出されしもうなとなくの「空気」によって、生活はたしかに変わり、日本は戦争に向かいます。農村や漁村の経済状況を良くする目的で始まった官製運動が、どのように同調圧力を生み出し、戦時体制を徹底させる「空気」を作り出したか、それを茨城県の具体的な事例から詳細に描き出す本です。

株式会社 七月社 ☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話 / FAX : 042-455-1385

| | |
|-------------------|--|
| 帳合・番線 注文数 冊 | 発行：七月社 電話：042-455-1385 |
| | 和田 健=著 経済更生運動と民俗 A5判上製 / 224頁 / 本体4500円 / ISBN978-4-909544-16-2 C1039 |

ご注文は JRC へ / FAX **03-3294-2177** *返品条件付き注文扱い
 * JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です